

北広島 商工会 だより

平成27年3月2日号
第85号

会員の状況
(部会の重複加入あり)

会員	731名 (+2、-2)
商業	449名 (+2、-2)
工業	341名 (+0、-0)
青年	43名 (+1、-0)
女性	59名 (+0、-0)

発行 北広島商工会事務局
責任者 事務局長 高田 信夫
〒061-1121
北広島市中央5-7-2
TEL 011-373-3333
FAX 011-373-3212
shokokai@kitahironavi.or.jp
http://www.kitahironavi.or.jp

★商工会だよりへの御社PR掲載、あるいはパンフレット・チラシ同封のご希望がありましたら、お気軽にお問い合わせください。(会員相互PR事業)

■新年交礼会

〜昨年引き続き200名を超える参加〜



1月13日、札幌北広島クラッセホテルで当商工会主催の「新年交礼会・大名刺交換会」を、上野市長、野原道議会議員を始め、会

員、関係機関等から209名の皆さんのご参加をいただき開催いたしました。会の冒頭、上原会長は「アベノミクス第3の矢がはなれたれ、景気回復されることへの期待」と「昨年は全国的に自然災害が多く発生し、地球環境への不安と被害に遭われた方々へのお見舞い」「地域経済発展のため、商工会も市と連携して取り組んでいく」「きたひろ✿まいピーの活動人気」などを主催者として挨拶しました。

以上には華やかさと賑やかさであふれており、会場から北広島市外の夜景も観ることができました。新年交礼会は、平成20年1月から行ってきましたが、昨年に続き本年も参加者が200名を超え、大変うれしく思っております。来年も多くの方々に参加していただけるよう企画してまいりますのでよろしくお願ひいたします。

■ダブルお楽しみ三角くじ事業

今年のお楽しみ三角くじ事業には110店舗に参加いただき、昨年12月15日から本年1月18日まで各店で実施しました。

今回は例年の三角くじに、北広島の特産品が抽選で当たる応募用紙を付け集客力向上を図ったところ、約2万枚の応募があり2月1日のふれあい雪まつり会場であい雪まつり会場抽選会を行いました。

当日は悪天候の中、当商工会の正副会長および野原道議、中川市議会議長にもステージに登壇いただき抽選会を実施。時間の都合上一部の抽選を行い、残



りは会場を商工会館に移し実施しました。

抽選の結果、ジנגスカン味比べセット、まいピー切手シート、はちみつセット、ハム詰め合わせなど合計400名の当選者が決定し、順次景品を発送しました。

当選者からは、お礼の手紙や電話をいただくなど大変好評でした。

■北広島市指定ごみ袋配送事業者の募集予定について

当商工会では、平成20年度より北広島市の指定ごみ袋等の一時保管、配送業務の受託をしています。

配送業務では、当商工会員の運送事業者の方に週に一度取扱店へごみ袋等を配達していただいています。が、平成27年度は北広島市との契約更新の年となっていることから、追加で3月中に事業者の募集を行います。

詳細については、当商工会担当者までお問い合わせください。

【担当者：吉田、竹内】

■労働保険年度更新のお知らせ

労働保険料の計算期間は毎年4月から翌年3月となっています。当会

に事務委託されている事業所には、今月中旬頃に年度更新に関する書類を送付します。従業員の賃金などの記載事項がありますので準備をよろしくお願ひいたします。

また、労災保険に特別加入されている方で今年の4月から脱退を予定している方、もしくは新しく加入をお考えの方がおりましたら、今月中旬頃までに当商工会労働保険担当者までご連絡ください。

※平成27年4月1日からの
労災保険率、雇用保険料率

雇用保険料率は平成26年度と変更ありませんので詳しくは同封のチラシをご参照ください。労災保険率は改訂予定ですが、詳細は年度更新に関する書類に同封する予定です。

■はまなす杯全国中学生空手道選抜大会開催のお知らせ

第9回目となる大会が、3月28日から3日間の日程で、市総合体育館で開催されます。

当商工会では、全国中学生空手道選抜大会歓迎実行委員会が中心となり出店の取りまとめ、選手および大会役員の弁当の手配、タクシー事業者との連絡調整を担当しています。



この大会には、選手や大会関係者合わせて全国各地から毎年約3千人が当市を訪れます。

北広島に来て良かったと思っていただけのように皆さんで歓迎いたしました。

確定申告等相談会のご案内

今年より、当会の顧問税理士が変わり吉田高志先生になりました。

下記の日程で確定申告等の相談に応じています！

日時 平成27年3月 5日、6日、9日、10日
12日、13日
時間 10時～16時
場所 北広島商工会館 2階 会議室1
相談料 無料



新会員紹介

〇商業部会
〇キャリアフィットケアサービス(株)
アゼリア館北広島 岡本 清 様
中央3-4-6

〇賛助会員
〇(株)ノース建築設計 菊地 義紀 様
札幌市中央区南2条西7-4-1

〇職員あいさつ
経営指導員 工藤 功治
2月1日付にて前任地である斜里町商工会より着任いたしました。商工会へ勤務し20年が経過しておりますが、初心に戻り、1日でも早く地域に貢献できるように頑張りますのでよろしくお願ひします。



■視察研修

〜人が集まる街づくりの取組み〜

まちづくり活性化委員会では北広島市においてのコンパクトシティの在り方について検討を続けています。今回は2月18日、19日の2日間、秋田県秋田市の国際教養大学と秋田市役所、山形県酒田市の中通り商店街を10名で視察しました。

国際教養大学は、昨年の4月で開校10年を迎えた歴史の浅い大学ですが、近年、企業から注目され就職率が100%を誇っています。その理由は、授業がすべて英語で行われ、在学中に1年間の交換留学を義務付けられていること、留学生との交流を通じて高いコミュニケーション能力が身につけていることにあります。そのほか地域貢献にも努めており、地域の小中高校生に留学生が英語の授業を実施したり、教員へ外国人教授が授業実施しているとのことでした。



秋田市役所では中心市街地まちづくりイベント支援事業について研修。中心市街地の再開発による「エリアなかいち」の建設に伴い、ソフト面から中心市街地で新規イベントをする団体に助成しています。書類審査の後に公開審査会にてプレゼンテーションを行い、大学や金融機関等の審査員が様々な視点から申請者の計画を審査しています。今年度は11のイベントが実施され、今後継続して来客を見込めるようなイベントが数多く出てきたとのことでした。

また、山形県酒田市では中心市街地に位置する中通り商店街を視察。駅前の商業施設が撤退し、更地となった土地が市営駐車場となり駅周辺は活気がなくなつたことで、イベント重視の集客から、個店力を高めることに重点を置いた研修事業を行っています。昨年度から2年間で計12店舗が繁盛店の研修を受け、実際にディスプレイを変えることで、客が店内に入りやすい店づくりを実践しています。その他にも新しいイベントに挑戦しており、今年度はオープンテラスを実施。くつろげる空間をつくることで利用しやすい商店街を演出するなど常に問題意識を持って事業を行っている点は大変参考になったところです。

■石狩管内ベンチャーキッズ支援事業

〜ふれあい雪まつりで子供たちが元気に販売体験〜

1月31日に雪まつり会場内の販売テントで、北広島市と当別町から集まった小学校4年生から6年生までの児童21名が販売体験を行いました。

この事業は、当別町、石狩北商工会青年部と当商工会青年部の共催で実行委員会を組織し、子供たちに会社設立や仕入、販売、決算等の模擬体験をしてもらうことで、行動力やチャレンジ精神を養い、協調性や自立心が芽生えることを目的として実施しました。

まず、本番に向けた準備として保護者同席のもと、子供たちとサポート役の青年部員が出席した児童会議を12月から計3回開催。1回目は参加申込があった24名(その後1名キャンセル)をA B C Dの4班に分け、初回は「商売とは」というテーマで座学を行いました。2回目では店舗名、メニュー、価格を決め、3回目では事業計画書を作成し銀行役の青年部員に提出。仕入れ資金の借り入れ交渉を行い、手分けして看板やポップの作成をしながら本番に向けた接客練習も行いました。各班のメニューはA班がココアとコーヒ、ドーナツ、B班が焼きそばとコーンスープ、C班がコーンポタージュ、から揚げと肉まん、D班がいそべ焼きと



おでんに決定しました。当日は、2名がインフルエンザのため欠席となりましたが、雪まつりの開催宣言とともに販売体験がスタート。最初は緊張から声が出せなかった子供たちも徐々に慣れ、「いらつしやいませ」「おいしい(あたたかい)〇〇はいかがですか」など大きな声でお客さん呼びこむことが出来るようになりました。また店を出て客席に販売に行く積極的な子どももいて、16時半頃にはほぼ完売することができました。17時に販売を終了し17時半の打ち上げ花火を見物したあと、会場に隣接する石狩教育研修センターで決算報告会を実施。売上、チャリティ、利益、一人当たりの給料を計算し各班長から発表してもらいました。東部長から販売した成果として給料と記念品の図書カード、修了証書を授与され、子どもたちは達成感で満ちあふれていました。

初回の会議では見知らぬ子や大人がたくさんいる中で緊張し、なかなか発言できなかったり、集中力を欠く子もいました。それが会議を重ねて職員とも仲良くなるにつれ、徐々に積極性や協調性が見られるようになりました。子どもたちが徐々に変化してく姿は日常では得難い体験であり、やりがいと達成感があった事業でした。



■教育長と懇談

2月12日、商工会館2階で北広島市教育長の吉田孝志氏を迎えて懇談会を開催。女性部員13名が出席しました。

懇談会は「現在の教育と家庭との関わり」というテーマで、学校教育・社会教育の基礎から、現在の教育方針や子どもが直面している問題などについて話をさせていただきました。また、子どもは同学年以外と付き合うことで大きな成長をすることが出来るため、各地区でも事業を用意しており地域住民との交流や家族の絆を深める機会にもなるので、ぜひ積極的に参加して欲しいとのことでした。

女性部員は自分の子どもだけでなく、地域振興事業に参加すると多くの子どもと触れ合う機会がたくさんあるので、懇談会はとても勉強になりました。

■障がい者雇用の一層の推進に関する要請

障害者の雇用の促進等に関する法律により、すべての事業主は社会連帯の理念に基づき、雇用を通じた障害者の自立について共同の責務を有しており、障がい者法定雇用率を達成、維持するよう法律上の義務が課せられています。

このような状況の中、本年2月付けで当商工会長宛に、北海道石狩振興局長、北海道教育庁石狩教育局長、札幌公共職業安定所長、札幌東安定所長、札幌北公共職業安定所長、千歳公共職業安定所長の連盟で要請がありましたので、会員企業におかれましては、趣旨ご理解いただき、障がい者法定雇用率の向上に努められますようお願い申し上げます。

詳しくは同封のチラシ等をご覧いただけます。

